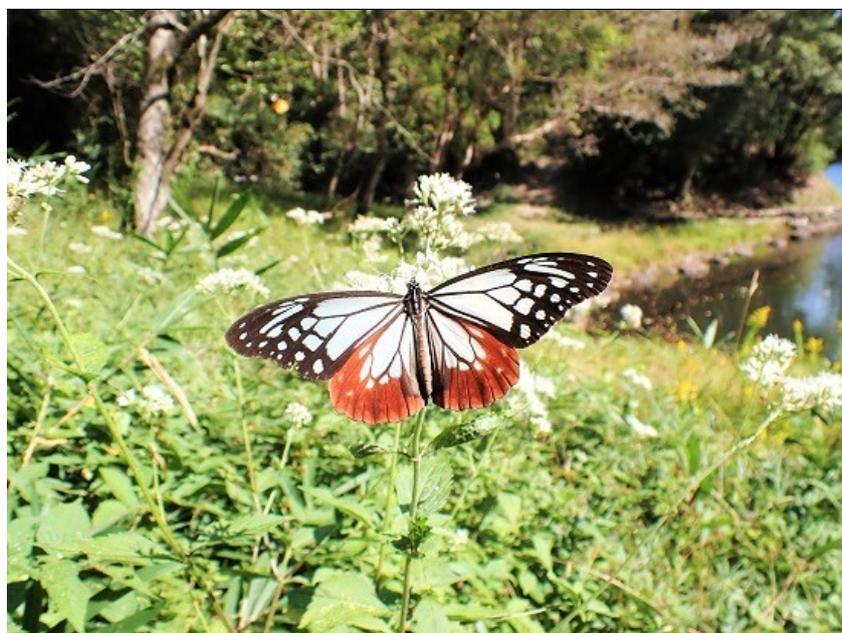


ヒヨドリバナを残そう

“旅する蝶” アサギマダラが秋に生駒山麓に今年もやって来ます。

旅の途中、ヒヨドリバナで吸蜜しながら翅を休めます。生駒山麓公園のヒヨドリバナは、動々池の周りや広場、西ゲート下の広場などに多く生育しています。ヒヨドリバナの花期は9月～10月中旬で、ちょうどその時期にアサギマダラがやって来ています。また、アサギマダラだけでなく、他の蝶や虫たちも吸蜜に訪れます。草刈り作業の時には、注意してヒヨドリバナを残してほしいです。



【ヒヨドリバナ】 キク科ヒヨドリバナ属の多年草。草丈は1m～2mほど。夏から秋にかけて白い花または淡い紫色の花を多数咲かせます。同じ仲間には、フジバカマ、ヨツバヒヨドリ、サワヒヨドリなどがあります。

【アサギマダラ】 タテハチョウ科。翅の斑紋は浅葱色で鱗粉が退化して透き通っています。上昇気流に乗って上空へ舞い上がります。夏になると北へ、秋になると南へ移動し、その距離は1,000km以上の長距離飛行が確認されています。